

令和5年11月22日開催 市長ふれあいタウンミーティング会議録（要旨）

開催日時 令和5年11月22日（水）20時～21時

会場 北部コミュニティセンター 2階 講義室

テーマ 地域の課題など、住民からの声を市長に直接聞いてもらい、意見交換を行うという趣旨

参加者 24名 発言者 8名

出席者 瀬野市長、長田理事、西口危機理室長
林魅力創造発信課長（司会）

〔市長ふれあいタウンミーティングの趣旨説明〕

市民のみなさんから直接、ご質問・ご意見等をお聞きする中で、市長と交流をしながら市政への理解を深めてもらうことを目的としている。

意見交換の要旨

発言 1	町会・自治会運営上に係るコミュニティセンターの支援について。
瀬野市長 回答	令和5年からスタートしている制度（指定管理者であるコミュニティセンターが地域をコーディネートすること等）については、あらゆる媒体で周知していく。また、市の担当課も、地域の課題解決につながるよう関わっていく。

発言 2	ゴミ回収時におけるカラス対策放送について。
瀬野市長 回答	実施の効果等を研究しないといけないことはあるが、担当課で検討していくよう情報を共有する。

発言 3	八雲・下島小の統合時に教職員を減らしすぎないようにしてほしい。
瀬野市長 回答	教職員数については、法律や基準に則って適切に配置を行う。

発言 4	町会としてこれまで防犯灯の電気代の半額を負担してきたが、町会加入者が少なく、現在町会の解散の決議をとる手続き中です。町会がなくなれば、防犯灯の設置申請や電気代の負担はどうなるのか。
瀬野市長 回答	担当課からは個人や地域のグループでも申請ができると聞いている。しかし、そのようなお声があることを担当課と情報共有し、今後の課題とする。
発言 5	防犯灯のリース期間満了後、市の方針は決まっているのか。また、切れた電灯の修理を町会負担することは財源的に難しい。
長田理事 回答	市としてどうしていくかは、今後の検討課題。令和7年3月末のリース期間満了まで、もう少し時間がありますのでそれまでに検討し、その結果をお伝えしていくことになると思う。

発言 6	住んでいるマンションの公開空地のことを確認したい。 町会加入者が減っている状況であるが、市職員・消防・警察官の加入率が低いことは問題ではないか。
瀬野市長 回答	公開空地のことは、個別の案件として担当課の窓口で相談下さい。 市職員等の町会加入については、町会の推進を図る市の立場から、職員へ伝える機会があった場合にはそうする。ただし、最終的には個人の問題となる。

発言 7	町会加入者が減っていく中で、広報誌の配布を町会ではなく、市がシルバーへ委託すると決めた。町会の振興をどう考えているのか。市はシルバーへ仕事を出さないといけないからそのような方針となったのではないか。
林課長 回答	シルバーへ業務委託することが前提ではなく、広報誌の配布者不足が進んでいる現状を踏まえ、今後とも継続的な配布方法を検討すべき時期にきたものと考えている。広報誌は、市民皆さんへお届けすることが市の責務な

	ので、そのことを考えた結果であるのご理解頂きたい。
--	---------------------------

発言 8	保育料の無償化など、子育て世帯に手厚いということで守口市に転入してきたものの、待機児童が多くて入所できないことが続いている。市としてどうしていくのか。
瀬野市長 回答	今年度、5年ぶりに33名の待機児童が出た。その対応として、認可を行う手続きに入っているところ。今後とも、適切に対応していく。

発言 8	統廃合によって、八雲小学校が避難所でなくなると、下島小学校まで行かなければならなくなる。避難所をどのようにするかは考えているのか
西口室長 回答	新校の完成後はもちろん避難所になる。その間については、災害の程度にもよるが、小学校のほかにも、コミュニティセンターや守口東高校を避難所として開放することもあるかと思う。

発言 9	府営住宅に住んでいるが、今後市へ移管されることはあるか。
瀬野市長 回答	今のところ、考えていない。 本日、様々な意見を伺い、検討できることについては、担当課へ伝えていくようにする。 本日は遅い時間までありがとうございました。

終了時間 21時05分